

## 第41回

アテネ／ギリシア  
*Athens Greece*

# 神々に敬意を表する町

リクルート=スタディサプリ講師 村山 秀太郎

## 有力者の王政で始まった都市国家

ギリシアの首都アテネ。エーゲ海から約8キロに位置し、近くのピレウスの海港の便益を得ているこの町の歴史を、予備校の受験対策で語るだけでも最低60分を要する。紀元前、ピレウスとアテネは、ほぼ平行する長い城壁によってつながれていた。そのピレウスの港湾会社の株式を、2016年に中国政府が購入を開始し、それが2021年には67%にまでなっており、今では「中国の港」と揶揄される。習近平氏の「一帯一路」の嚆矢となる一件だ。

ギリシア人が集住した際に中心となった有力者の王政で始まったポリス(都市国家)アテネは、前6世紀にクレステネスが陶片追放で僭主(人気のある独裁者)出現を防止することにより民主政治に移行した。オリーブオイルとワインが主産物だった当時のアテネには陶器の破片が至る所に落ちていた。破片に僭主になりそうな人名を書かせ提出させ、一定数に達するとアテネから追放したのである。

前5世紀、イラン人のアケメネス朝のエーゲ海侵攻によりペルシア戦争が開戦したが、戦争はおおむねアテネ勝利で決着しアテネは小帝国となった。エーゲ海沿岸地域の大半を支配し、西はイタリアやシチリア島から東はキプロス島やシリアにまで達した。指導者ペリクレスは、ペルシア人の再来に備え結成されたデ

ロス同盟の共同基金を流用し、パルテノン神殿を再建し、そこに友人フェイディアスの作品アテナ女神像を安置した。アテネは伊勢か



出雲のような町であった。アテネでは成年男子市民には観劇する義務があり、演劇上演中には休業補償金が出た。アテネ市民の自覚と誇り、民主主義の成熟に観劇は不可欠なもの、つまり演劇は公共的、国家的、政治的なものであった。古代アテネが民主主義の故郷であるという議論があるが、古代のアテネでは成人男子市民一人ひとりに神の意思が宿るゆえ、多数決により神の意思が顕在化すると構えたわけだから、国民主権を是とする(人間に主権つまり無制限の権力が宿るとみなす)現代民主主義とは異質のものである。demokratiaはデーモス(民衆)とクラトス(力・支配)の合成語だから民衆制と訳するのが妥当である。デーモスはデーモン(悪魔)と同根だ。ちなみに漢字の「民」は「目」をつぶされたという表象から来ている。「見る目がない」人が「民」ということだ。古代ギリシア人も中国人も「民」にマイナスのイメージを